



06年度給与見直しについて 使用者側から説明(?)がありました



前号からすぐの「やまくら～ズ」だけど、今回はあんまり腹立ったんで、連続出しにしちゃいます。

ほんと腐ってるな・・・。

17日(金)黒髪事業所の「06年度給与見直し」について、使用者側から説明が行われました。来年度の給与は05年度人勧によると大幅な給与の引き下げが行われます。だから、使用者は僕たち労働者に対して、納得いく説明をしなければなりません。前回の説明(05年度給与改定)はただの人勧説明会見たいな感じだったので、今回はちゃんと予算等を示し、説明してもらえるものと少しは期待してたんだけど、出てきたのは人勧資料に毛が生えたモノ。いったい今まで何、検討してんだか。このケースだと一月に-0,3%の給与引き下げやったのとおんなじじゃない。やっぱ最終的には「強行でやればいい」ってのがみえみえだね。

こんな感じだから説明会といっても、参加者を納得させるものにはさっぱりなっていません。またしばらくの間(平成21年度まで)は経過措置として現給保障なんて言っているが、人勧のままでいくと、退職時に現給保障額に達していなければ、達していない俸給額で退職金は支払われることになってます。ボーナスだって使用者は現給保障での支給なんてことは一言も言わなかったから、やっぱ下げられた俸給額で支給されるのかななんて思います。ということは現給保障といっても、今年度の給与より大きく年間所得が下がるってことですよ。その辺のところを聞いておけばと後で後悔してしまいました。

そうそう、説明会では問題発言いろいろあったのさ。まず、僕らの給与がまだまだ民間より高いってことだとさ。何処と比べたと思う??なんと10人以上の企業を含め比べてるんだよ。前回の交渉では100人以上と言っていたのに、説明会ではさらに低いところまで入れて、大学職員の給与を比べるんだって、考えられねえよ。使用者は「人勧を参考に」といいながら、人勧が出した民間平均給与より低い熊本大学の給与は、独自で最低まで下げたデータで説明する。ま、使用者は僕らがそれぐらいの仕事しかしてないという判断なのだろうね。それと、評価についてはさっぱりわかんないらしいよ。労務担当理事が・・・。なのに評価制度を入れるような説明してどうなってんだろうか??こんな説明会ってある??資料も作らず、検討せず。まったく使用者側が仕事してないってことの丸出しじゃない。ま、自分達が仕事をしてないから、僕たちまで一緒にして「給与が民間より高い」なんて、のうのうと言えるんだろうね。まったく、うちらがやっている教育研究・医療をどう考えてんだろうね。自分たちと一緒に考えてもらっちゃたまないな。

みんな、もっと声を上げてこうよ。使用者は腐ってるんだって、そうとしか思えないよ・・・。
今日は本荘、大江地区の説明会か・・・。

熊本大学教職員組合青年部機関紙
やまくら～ズ 発行 No.27 2006/02/21